

日本労働年鑑 第50集 1980年版
The Labour Year Book of Japan 1980

第二部 労働運動

XIV 政党

7 日本共産党

5 諸活動

(3) その他

有事立法・元号法制化反対闘争

共産党は、政府・自民党が「有事立法」制定の動きをしめしたことを重視し、国会で政府を追及するとともに、『赤旗』は連日この問題を報道して「有事立法」反対のキャンペーンを展開した。また、九月一日には上田副委員長を責任者とする「有事立法・統合作戦研究対策委員会」を設置、ついで同八日には「有事立法による軍事ファシズムへの道を阻止するため、いまこそ民主勢力は国民的闘争に決起しよう」と題する常任幹部会声明を発表するとともに、宮本委員長を責任者に「有事立法反対闘争本部」を設置して、国会の内外で活発な運動をおこなった。

さらに十一月二日には、有事立法だけでなく、元号法制化、靖国神社国営化、教育、司法での反動化など一連の動きにたいする闘争を強化するため、有事立法反対闘争本部を「有事立法・元号法制化等反対闘争本部」と改称し、本部員も増強した。有事立法等の反対闘争の詳細は『前衛』七八年十一月号～七九年二月号、とくに一二月号の特集「民主主義かファシズムか」参照。

国民生活防衛闘争

有事立法反対とならんで共産党が力を入れたのは、一般消費税反対や雇用・失業問題などの「国民生活防衛の闘争」であった。生活防衛闘争では、大衆運動としてこれにとりくんだだけでなく、生活相談所を通じて、サラリーマン金融の被害の解決、下請け業者にたいする不払い代金の回収などに努めたことであった。共産党日常活動局の集約によれば、七九年一月から六月に、同党の生活相談(連絡、取次)所は一〇九〇カ所ふえ、全国で一四五〇二カ所となり、受けつけた相談件数は二五万二九五六件でその七〇%を解決したという。また、サラ金被害などの相談活動による解決額は七八年一年間で五三億六七九二万円、七九年一月から六月で四〇億七八九〇万円に達したという(『赤旗』七九年七月一五日付)。

婦人活動家会議

七八年十一月一八、一九の両日、共産党は党本部で初の全国婦人活動家会議を開いた。会議には、都道府県委員会の婦人部長をはじめ、地方議員、支部や新日本婦人の会などの活動家一五六人が参加した。会議の目的は、全党員のなかで三五%を占める婦人党員が機関紙拡大など「全党的な一般的諸課題の実践と、婦人運動分野での諸課題とを結びつけて、いっそう広範な婦人のなかで活発に活動して、党の影響を広げ、発展させること」にあった。

【参考資料】〈日本社会党関係〉(1)日本社会党中央本部機関紙局「社会新報」(週二回刊)、(2)同『月刊社会党』、(3)日本社会党政策審議会『政策資料』、(4)「日本社会党第43回定期全国大会速記録」、(5)社会主義協会(向坂派)『社会主義』(月刊、ただし七八年二月、七九年六月に臨時増刊号発行)、(6)社会主義協会(太田派)『社会主義』(月刊)、(7)労働社会問題研究センター『社会労働評論』(月刊)、(8)社会通信社『旬刊社会通信』

〈公明党関係〉(1)公明党機関紙局『公明新聞』(日刊)、(2)同『公明』(月刊)

〈民社党関係〉(1)民社党本部『週刊民社』、(2)同『革新』(月刊)、(3)民社党政策審議会『政策と討論』(月刊)、(4)全日本労働総同盟『同盟』(月刊)、(5)民主社会主義研究会議『改革者』(月刊)

〈日本共産党関係〉(1)日本共産党中央委員会『赤旗』(日刊)、(2)同『理論政策』(月刊)、(3)同『前衛』(月刊)、(4)同『議会と自治体』(月刊)

以上のほか『朝日新聞』、『読売新聞』、『毎日新聞』、『世界』、『エコノミスト』を利用した。なお、月刊誌だけでなく一般週刊誌までカバーした政党関係の雑誌記事のリストとして、日本共産党「赤旗・評論特集版」(週刊)に毎号掲載される「雑誌記事」がある。

[補正]その後社会党および共産党の党員数にかんし、新たな数字が発表されたので追記する。
(1)日本社会党の党員数は一九七九年八月二九日現在で四万九一七七人となった。これは同年一月にくらべ五五六五人の増である(『朝日新聞』七九年八月三一日付による)。

(2)日本共産党の党員数を七九年五月現在で三五万人台と推定したが、実際は三六万五〇〇〇人前後であった。すなわち『朝日新聞』七九年八月一二日付によれば、同年六月、七月の「躍進月間」中に「四万四千人が入党、約四十一万人になった」という。

日本労働年鑑 第50集 1980年版

発行 1979年11月10日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月25日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1980年版(第50集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
